

賤機山古墳

よみがえった古墳の姿



古墳は、石室の石のずれや傷みが見つかり、墳丘も崩れていたことから、1989年(平成元)から保存対策の検討を開始し、保存のための発掘調査を経て1993(平成5)から1996年(平成8)まで保存整備工事を行い、築造当時の姿が蘇りました。



上空から見た賤機山古墳



整備時の盛土解体、天井石積み直しの様子



側壁積み直しの様子

名称: 賤機山古墳(しずはたやまこふん)

所在地: 静岡市葵区宮ヶ崎町102番地(静岡浅間神社境内)

墳丘: 円墳 / 直径約32m・高さ約7m

主体部: 横穴式石室(両袖型)

【玄室規模】長約6.5m・奥壁幅約2.6m・奥壁高約3.8m

【羨道～前庭】長約11.8m・羨道幅約1.8m・羨道高約1.9m

調査歴: 昭和24(1949)年

登呂遺跡周辺重要遺跡調査 日本考古学協会

平成3(1991)～7(1995)年

保存整備事業に伴う調査 静岡市教育委員会

史跡指定: 昭和28(1953)年3月31日



■アクセス■

■ JR静岡駅前9番のりばから静鉄バス安倍線または美和大谷線「赤鳥居浅間神社入口」下車徒歩約3分
* 古墳見学のための駐車場はありません。

■利用案内■

■ 石室照明時間 午前8時～午後6時

* 石室内に入ることにはできませんが、石室扉外から見学できます。

■ 見学は無料です。

■ 古墳の墳丘は危険ですので登らないでください。

■ 古墳内及び周辺は、禁煙、火気厳禁です。ゴミ、空缶等はお持ち帰りください。

■ 出土遺物は、静岡市埋蔵文化財センター他で保管しています。出土遺物のうち2点の馬具の複製品を静岡市歴史博物館1階で見学することができます(1階は見学無料)。

静岡市観光交流文化局文化財課

〒静岡市葵区追手町5番1号

TEL054-221-1069

編集・発行 静岡市観光交流文化局文化財課

発行日 令和6年(2024)3月29日



駿河の王墓、賤機山古墳

賤機山古墳は、静岡浅間神社の境内にあり、静岡平野の中心部に突き出した賤機山の南端に造られています。ここは、標高約50m、比高差約30mの尾根上で、静岡平野を一望することができます。

賤機山古墳は、古くからその存在が知られており、江戸時代の文献『駿國雜誌』(天保14年)には、大刀や六鈴鏡などが見つかったことが記されています。

昭和24(1949)年に、初めて考古学的発掘調査が行われました。その結果、古墳の形は直径約32m、高さ約7mと推定される円墳で、内部には巨石を積み上げて造られた巨大な横穴式石室があり、石室内には大型の刳抜式家形石棺が置かれていることが明らかになりました。

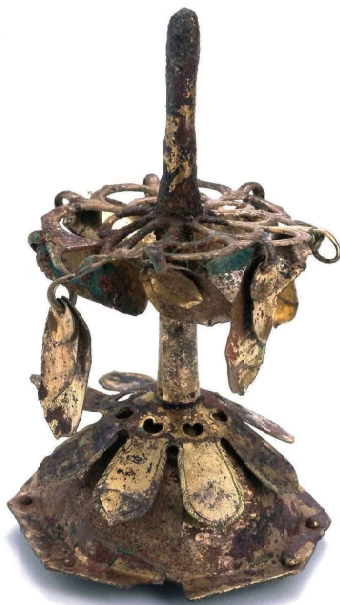
石棺内は、盗掘により人骨や副葬

品はほとんど残っていませんでしたが、石棺の周りからは土器や武器、武具、馬具など質・量ともに豊富な副葬品が出土しました。出土遺物から、古墳は6世紀後半の当地方の最有力豪族の墓であると考えられています。

この調査成果により、古墳の重要性が評価され、昭和28(1953)年に国の史跡に指定されました。



発掘調査時の羨道からの副葬品出土状況



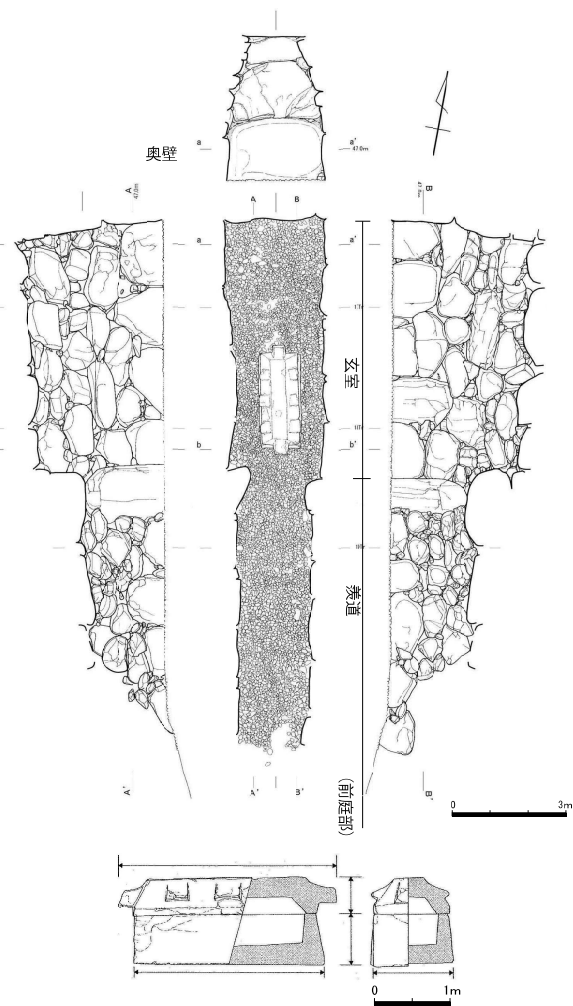
歩揺付飾金具

巨大な横穴式石室と家形石棺

主体部は、巨石を積み上げて造られた横穴式石室です。玄室の奥壁から外護列石までの長さは18.2mで、静岡県内で最大の規模を誇ります。

玄室は、羨道に比べて幅が広く、玄室の高さが羨道の高さの約2倍あるなど、近畿地方に典型的な大型石室と共通した特徴をもちます。

遺体を納めた石棺は、伊豆産の凝灰岩を削り抜いて造られていて、蓋が家の屋根の形に似ていることから「家形石棺」と呼ばれています。石棺は長さが約2.9mを測り、蓋には四角形の突起が左右に3対(6個)、前後に1対(2個)削り出されています。また、蓋と身の合わせ目には、赤色のベンガラ(鉄の酸化物)が塗られていました。



豪華で豊富な副葬品

東海地方の有力豪族の古墳をみると、金銅で装飾された武器や武具、馬具が出土しています。賤機山古墳は、特にその量が多く、良質のものが多い特徴があります。中には、鳳凰を描いた銀象嵌円頭柄頭や、奈良県藤ノ木古墳と似た金銅製冠帽などが見つかっており、こうした遺物や石室形状や石棺からも、被葬者は畿内と結びつきが強く権力をもった人物と考えられます。

遺物の年代は、6世紀後半から7世紀後半に及び、石室への埋葬行為は複数回行われた可能性が考えられます。

■主な出土遺物

- 土器:須恵器(高坏、坏、甃、横瓶、平瓶、埴瓶)、土師器(坏、壺)
- 武器・武具:大刀、鉾先、鉄鏃、刀子、挂甲
- 装身具:金銅製冠帽、金銅製空玉、ガラス玉、金環、勾玉
- 馬具:歩揺付飾金具、鞍金具、轡、鐙、雲珠、辻金具、馬鈴、杏葉
- その他:六鈴鏡、銅鏡

